

事務事業名	地域活動支援センター事業	所属部	健康福祉部	所属課	長寿障がい福祉課				
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉		所属G	障がい者福祉グループ				
	施策名	〈22〉障がい者〈児〉福祉の充実		課長名	田中 秀信				
	目的・対象	障がいのある人	意図	地域で、いきいきと安心して暮らす。					
	基本事業	〈065〉福祉サービスの充実		担当者名	藤本 誠				
	目的・対象	障がいのある人	意図	サービスを受ける。					
		予算科目	会計	款	大事業	大事業名			
			0	1	5	4	0	地域生活支援事業	
			項	目	中事業	中事業名			
			0	5	4	5	1	0	地域活動支援センター事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
障がい者(児)・難病患者	自立した日常生活および社会生活を送る
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(H18 年度～) ☐ 期間限定複数年度(年度～ 年度)	
在宅の障がい者に、通所による創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等のサービスの提供(基礎的事業)とともに、医療・福祉及び地域の社会的基盤との連携強化のための調整、地域住民ボランティア育成等を行う。 【Ⅰ型】基礎的事業の他、専門職員(精神保健福祉士等)を配置し、医療・福祉及び地域の社会的基盤との連携強化のための調整、地域住民ボランティア育成、障がいに対する理解促進を図るための普及啓発等の事業及び相談支援事業を実施。 【Ⅱ型】基礎的事業の他、地域において雇用・就労が困難な在宅障がい者に、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービス事業を実施。 【Ⅲ型】基礎的事業を実施。	
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
4つの社会福祉法人の5事業所に事業を委託して実施。 【Ⅰ型】雲南広域福祉会 地域活動支援センターバレット 【Ⅱ型】千鳥福祉会 地域活動支援センターL. C. C. ういんぐ 【Ⅲ型】①雲南ひまわり福祉会 ほっとらいふ雲南 ②特定非営利活動法人ふれんど 地域活動支援センター大東事業所ほたるハウス、地域活動支援センター木次事業所さくらんぼ	平成20年度から公募方式で事業者の応募を受けて実施している。 令和元年度から利用者が少ないため、事業を廃止(Ⅱ型事業所)したところがある。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア I 型延べ利用者数	人	4,162	3,493	3,218	4,000
イ II 型延べ利用者数	人	353	364	295	400
ウ III 型延べ利用者数	人	2,383	2,851	2,625	3,000
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
委託料	国庫支出金	千円	697	607	644	1,000
I 型 1事業所 9,000千円	県支出金	千円	609	598	500	500
II 型 1事業所 1,583千円	地方債	千円				
III 型 3事業所 10,359千円	その他	千円				
	一般財源	千円	23,130	20,892	19,798	23,760
	事業費計	千円	24,436	22,097	20,942	25,260

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	給付事業では対応できない様々な障がいのある方に、創作的活動または生産活動の機会を提供し、社会との交流等の促進を図っている。 無理のない範囲で自由に通所することができ、日中活動の場として利用されている。
② 事業実施するうえでの課題	障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の一つであり、市町村必須事業である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の一つであり、市町村必須事業であるため、従来どおり継続して実施する。